

牧野イサム選手 (体育4年、 に対する自信を見せた。 た。」と、これまでの取り組み 愛知・松蔭高)は、「春からやっ 上げて手にした栄冠。主将の 季ぶり20度目の優勝を果たし 1部において、筑波大学が3 ドボール連盟秋季リーグ男子 けて行われた、関東学生ハン てきたことが間違っていなかっ 今大会では、筑波大学から 春季の2位から順位を一つ

た。その中で最優秀選手賞に 4名の選手が個人賞を受賞し 川翔大選手(体育1年、山口· の選手らが怪我のため欠場し がU19日本代表の関係で抜け 手(体育1年、富山·氷見高) ており、リーグ中盤には、藤 るなど、メンバーの入れ替わり 合。前半は主力となる4年生 広げられたリーグ戦は全9試 岩国工業高) や朝野翔|朗選

て良かった。」と振り返った。 およそーケ月間に渡って繰り 様子が窺える。

的な動きを取り入れた筑波 筑波型ディフェンスとは、現代 波型ディフェンスの完成度が高 まったこと」が大きいようだ。 今回の勝因としては、「筑

野選手は、「チームビルディング 生最後のインカレだ。これまで 男子ハンドボ を大切にしてきた。。なぜこの 今大会が4年生にとっては学 で会場を染めたい。」と話した。 持って行って、筑波大の雰囲気 習の雰囲気をそのまま会場に 意気込みを、森永選手は「練 本学生選手権大会(全日本 高松宮記念杯男子6回全日 インカレ)に向けて出発する 主将を務めてきた牧 ル部。出発前の

9月1日から10月7日にか | 年、茨城·藤代紫水高)は、「春 | ムの選手層の厚さが活きたこ | 大ならではのディフェンなスキル 自身に掛けていた。優勝でき ば、というプレッシャーを自分 季リーグよりも活躍しなけ とで、リーグ全体を通じて勢

ごとに仕上がりが良くなってい う。第1試合からコンスタント にコートに立ち続けた森永選 に増していった。試合を重ねる が復帰してからは勢いがさら 手は、「後半、主力の4年生 いが崩れることはなかったとい た。」と言い、上り調子だった 果となって表れた。

もう一つ注目すべき点は、

部員の約3分の1の選手が代 表選手が多いことだ。現在、 底することや、代表選手の部い中で、残った部員の強化を徹 学内の練習を抜ける部員も多 部員に各カテゴリーの日本代 帰ってくることが、チームに好 員が自信をつけて派遣先から 表選手として活躍している。

このインタビューの翌日には、

でそのレベルが向上し、今回結 も実践していたが、以降も継 続して練習を積んできたこと 春季リーグで 気持ち良く勝つ。部員にはそ て勝つ。ハンドバールを楽しんで、 分たちがやってきたことを出し ることが筑波大の強みでもあ る。」「後悔はしたくない。 写真:島田撮影

が求められる。

わっていることだろう。

れぞれの楽しみ方で楽しんで

ほしい。」と語った。この想いは、 自らの姿を通じてチー ームに伝

|島田すみれ| | 勝、男子3位という結果を収 が輝かしい活躍ぶりを見せて て、筑波大学バドミントン部 ドミントン選手権大会におい 行われた第6回全日本学生バ れた。団体戦では女子優 10月13日から18日にかけて が3位、男子シングルスにて西 育3年、青森・青森山田高) 野勝志選手(体育3年、愛媛・ 新田高)が3位という結果を

お話を伺うことができた。 美空選手と香山未帆選手に ミントン部の活躍について安田 連覇を達成した。今回、バド 今大会にてなんと史上初の5 収めた。なお、女子団体は、 まず団体5連覇達成の率

直な感想を伺うと、安田選

写真:同部提供

かったが、本番では「練習をり、周囲からも言われ、苦しり、周囲からも言われ、苦し がない!」という気持ちで明 違い、達成したときは「終わっ 手は「5連覇しなければとい るく挑めた。今振り返ると楽 積み重ね、悩みつつ進んでき た、良かった」と思った。」と語っ 分、去年勝ち取った優勝とは う思いで練習してきた。その しかった。」と語った。香山選 たのだから、ダメだったら仕方 大会にどのような 当たり次第に書き込んでいま す。予定はもちろんのこと、 手帳になんでも書き込みま 章を書いています。 す。締め切りが過ぎてしまっ 担当させていただく西村で なにが書いてあるのかわかり す。見返してみると、どこに 言葉や詩、買い物メモなど手 疑問に思ったこと、出会った たので、猛省しながらこの文 します。書くといえば、私は 初めまして。今回コラムを 早く提出

クワクします。

意気込みで臨んだのかを尋ね一にくいのですが、それも含め

編集部に入部.

しました。その

私は2

生の4月から

たいことを書

くのがおすすめ

(体育2年、岡山・倉敷中央シングルスにて香山未帆選手 高)が優勝、安田美空選手(体 め、さらに個人戦では、

りで練習してきたので、ダブ ず、最後まで2試合出るつも ルスもシングルスも両方勝つつ

」 ると、安田選手は「大学のバードミントン界において5連覇の 、達成は史上初なので、特に団体戦 があし、香山選手は「団体戦 はレギュラーが4人しかおら



た。一方で香山選手は、「途中、のほうが強かった。」と話し気で攻め、緊張よりも勝気ピード」を意識し合った。強

選手)とは と、安田選手 のときの心境

『思い切り』、

ズ

務め、

今後は後輩につなぐ

責任がある。ここでやってき

て良かったと皆が思えるよう

後輩の力になれるように

は 「ペア(香山

選手は「キャプテンを一年間

今後の抱負について、

について尋ねる

戦でペアを組んだお二人にこ が繰り広げられていた。 龍谷大学との

ながったのだろう。

たからこそ、今回の優勝につ も苦闘したその一年間があっ

写真:同部提供

の好きなことばかりなのでワ すが、リストを見返すと自分 という何とも情けない状況で やってみてください。やらな ジは、「今年やりたいことリス きゃいけないことではなくやり 以前SNSでみて、 81個中18個達成めました。11月 皆さんもぜひ 一番好きなペー すが、入部してよかったです。 という部活がありましたらお の部活を取り上げてほしい、 少ないですが、 たくさんの部 半年の間で記事にできたのは 新歓行く空」とありました。 気軽にご連絡くださいー 活を取り上げたいです。 時の手帳には4月11日に、 18:30~ 筑波スポーツ新聞

今年から始め

篠崎陽介(図情1年) 西村生(体育2年)

15日現在、

トです。

て楽しいです。

発行所/筑波大学体育会 (TEL.029-853-2589) 発行人/神田敬邦

集/筑波スポーツ編集部 tsukusupo@hotmail.co.jp 責任者/松本棒

菊田文香(図情3年) 松本樹(比文2年)

千葉蓮(図情4年) 佐瀬醇(資源4年) 篠原美奈巳(比文4年) 編集スタッフ 蓮沼礼子(看護2年)

舛本暖菜(図情2年) 島田すみれ(比文3年) 山中貴裕(医療科4年) います。

のさらなる躍進を期待して

に出場した選手たちを取りわれ編集部もオリンピック 手や、OB・OGの選手に世 筑波大学の体育会の現役選 再来年にはいよいよ東京 私はうれしく思います。 学体育会の選手のみなさん そのためにも、 上げられたらうれ 界の大舞台で輝く姿を私は 私は筑波大 しいです。

よう、という

思いで臨んだ。」

最高のパフォーマンスを発揮し

から、

今後も日を離せない

(菊田文香)

焦らぬよう、 は絶対条件で

目の前の試合で

突き進むバドミントン部の姿 かい、共に励まし合いながら

あり、力まず

について、香山

山選手は「優勝

れる。

様々な苦難に立ち向

合に挑んだのかが伺えた。

を持ち、

日々の練習に励む

彼女たちの強さには圧倒さ

個人戦のシングルスの優勝

かに気持ちを

落ち着かせ試

し、緊迫した状況の中で、い二人で一点ずつ決めた。」と話

『ここで連覇が終わるのかな

い。」と語る。また、香山選

は「全日本総合でベスト8

気に点を追いつかれた際は

尽くしたい。

8入りを果たした 全日本総合で

…] という不

安も過ったが、

は3面にデフサッカーの特あったことです。その記事 通じて個人の活動をサポー ます。このように、本紙を 集という形で掲載されてい 紙に自分に関する記事を載 とがありました。それは本 トすることができることを、 さて、 今号では嬉しいこ

その記事

入りを果たし、B代表(若手

中心の日本代表)に入りた

い。」と語る。常に高い意識

で で で で で 取 が に 勝るとも 劣ら の 面で 取り上げた 運動部も 部を取り上げましたが、 部はどの部を取り上げるべ 績を残しており、我々編集 いと思います。 だからこそ、私は1面だけ が大活躍でしたね。 でなくどの面も読んでほし きか毎回とても悩まされ んの運動部が素晴らしい 今回は1面で硬式野 たくさ 他球 ま 成

今回も筑波大学の体育会

写真:同部提供

シャーの中で、

日々の自身の

し、グリップの持ち方やフォー 多くの人のプレーを見て研究 と振り返る。去年一年

ム、サーブ等を変えたという。

努力を信じ、

5連覇達成と

んだようだ。

団体戦決勝のダブルスにて、

時期もあったようだ。それで

対戦では接戦

いう強い思いを

胸に大会に臨

しかしその定着には時間が

かかり、思うようにいかない

シャーりロット と記した。周

写真:同部提供 育2年、静岡・静岡高)と は筑波大学先発の村木(体 近畿大学と対戦した。試合 は、 育1年、兵庫・報徳学園高) が四球で出塁すると、ラン の援護を待ち続ける。そし 強まり、このまま近畿大学の を破るスリーベースと、6番 藤は先頭の5番谷川の右中間 込むが、打線が中々小寺 畿大学の4番佐藤が放った低 指す筑波大学硬式野球部は、けた。11月10日、日本一を目 響き渡る中、代打片岡(体 が三塁側スタンドから球場に わるチャンステーマ「さくら」 ンスを作る。硬式野球部に伝 ナーを進め二死一、三塁のチャ 育4年、神奈川、桐藤学園高) 打たせないという気持ちで一 後は自信のある速球と絶対 を許した加藤だったが、その 学の反撃が始まる。 ペースで試合が進むかに思 球場に暗雲が立ち込め雨 で追加点を奪われる。神宮 中家のライトへの犠牲フライ 花巻東高)にマウンドを託す。 た加藤(体育2年、岩手・ 仲が良く生活を共にしてき トナインで、村木と普段から 筑波大学は秋季リーグのベス 捉えられない。そして7回表、 木は相手をノーヒットに抑 に先制を許す。その後の村 トスタンドに入り、 い弾道の打球がそのままレフ 試合が動いたのは4回裏、近 点に抑え、序盤を終える。 走者を背負いながらも無失 相手先発の小寺が、ともに 人のランナーも許さず、 しかしその立ち上がり、 29回表、先頭の7番星(体

北須磨高)と加藤選手にイ 福永選手(体育4年、 この試合の後、主将である

及ばず。結果1対2で筑波 ライに打ち取られ、反撃も が入るも、最後はセンターフ がレフト前ヒットでランナーを 大学の神宮大会は幕を閉じ 安打を放っている3番種子島 見せる中、打席にはこの日三 応援席が一層の盛り上がりを 返し、ついに一点差に詰め寄る。 体育4年、滋賀・膳所高)

た試合をしていた。この守り一をものにした試合だった。こ 投手力と堅い守備が合わさっ 3で敗れてしまったが、相手 を食い止めつつ少ないチャンス 写真:同部提供

神宮大会のテーマが 平成30年12月5日(水) (松本樹) 屬字中山雅史氏 第175号 (元サッカー日本代表・職球部OB)

数値化が大きかったようだ。 習前の全員のバント練習と、 またこの大会での筑波大学の サポートメンバーによる統計の 波大学は5つの送りバントを ました。」と語っていた。 失点は合計わずか3点で、 成功させたが、これは全体練 なった。加えてこの試合で筑 ビッグイニングの火付け役と がこの回一挙五点を追加し、 年、愛媛・今治西高)がバン 経済大学戦では五回表に無 を出せていた。初戦の対流通 野球部は自分たちの持ち味 トヒットに成功すると、後続 死二塁から2番若狭(体育3 えてやるという気持ちで臨み トンを渡されたので絶対に抑 この大会を通して、 硬式 に弾き返して 続く代打種子 を破るスリー 静岡・沼津東高) が左中間 は相手投手に た。この試合は惜しくも2対 開した。しか ら追いつけない 二本と抑え込まれ、1対3か 価大学戦である。筑波大学 全体練習の8 頭の代打秋岡 (体育4年、 が、横浜市長 に充てたという。 識のもと得点力強化に励み、 に抑えて3点は 設定した。これは「2点以内 打撃練習の効果がみられたの という意味で、 いまま試合が展 7回までヒット 割を打撃練習 一点をもぎ取っ 島がセンター前 し7回表、先 杯決勝の対創 以上取って勝つ ースを放つと、 夏季はこの意 そしてこの

チームの合言葉に「U2O3 Under2Over3)] & た。僕含め選手は応援を力 じながら戦えたのは幸せでし たのですが、大声援を背に感 観客がいる中での試合でし 事についてお話をお聞きした。 切って負けたというのが一番強 ようだった。そして、試合を と観客から力をもらっていた とができていたと思います。」 に変えて真剣勝負を楽しむこ 試合中はゲー 波の応援はすごかったです。 た。特に三塁側スタンドの筑 分の野球人生の中で一番多く 観客について、福永選手は「自 この試合に駆け付けた多くの 終えた感想については 最後に、神宮大会本戦の ムに集中してい 成できず悔しい気持ちもあっ られた大会になったと思いま になるために新たな学びを得 たので今後『勝ち続ける組織』 えていた。 す。」とチームの将来を見据 たようだが、「力を出し切っ だった。日標である日本一を達

の林助監督による分析によっ こうで、その後 できたのだろう。 ムとして勝ちを重ねることが

しかし、ここから筑波

加

に準備して入り遅れだけない れることをイメージし、早め いて「常に勝ってバトンを渡さ 中に気を付けていたことにつ めくくった加藤選手は、試合

ように意識していました。」

て判明したそ

後に行われた

慶應義塾大学

振り返って「勝ってる状況でバ と話していた。さらに大会を

追加·

戦はこれからも続いていく。 部。勝ち続けられるチー 球」を体現し、全国の舞台 というチャレンジに終わりはな なるため、日本一を目指し挑 に足を踏み出した硬式野球 い」と話していた。「筑波の野 手は「勝ち続ける組織になる インタビューの中で、福永選 勝つスタイル は春リーグ終了 写真:同部提供

回戦で関西五連盟第一代

宮大会出場が決まった準決勝

について話を何った。 選である横浜市長杯の模様

明治神

どすごい嬉しくて、普段は勝つ

た時は実感がなかったですけ

について、福永選手は「決まっ

12年ぶりの明治神宮大会

ンタビューを行った。

まず、明治神宮大会の予

夕暮れとともに幕を開

のような筑波らしさをチーム が共有していたことで、チー

近畿大学

試合が大事」と伝えて翌日

すぐにチームに「明日の

に備えさせました。」と気持

全力を尽くさなければ神宮

大会につながらないと思ったの

出てしまって仲間と一緒に喜び

るんですが、自然と感情も ても淡々とするようにしてい

ました。でも翌日の決勝戦で

を

登板し、

準決勝の最後を締

た。またこの大会で全試合に ちを切り替えていたようだっ

生最後の試合が人生で一番楽 思います。」とやり切った様子 場したっていうだけの経歴は一 備もノーエラーで投手もスト 球を奪うこと、球数を投げ うな一年間だったからこそ、 産になりました。ドラマのよ て手にした成果という面で財 りとあらゆる取り組みによっ 突があっても、勝つためにあ ですが、その過程で仲間と衝 どのことではないと思います。 般的にも特別すごいっていうほ なりました。全国大会に出 ていた力は出し切れた試合に ライク先行でいけたことなど、 させることができたこと、守 た意味では、打てなくても四 うことが大事でした。そういつ ら今まで磨き上げた野球で戦 ためのヒントが分かる。だか らこそ今後筑波が勝ち続ける 全国でも戦い、結果が出るか しいと感じた試合になったと 「筑波の野球」を体現し持つ 「やってきた野球で戦う」でし 今までやってきた野球で

相見

根駅

企選出

場逃

る池田親選手(体育3年、

習はもちろん個人の目標に向ある筑波大学の強みを、練

かって主体的に取り組むこと

るところにあると両選手は教 ができ、個々の力を発揮でき

えてくれた。また、

両選手

で行われた。予選会では陸 写 第95回東京箱根間往復大 ス に筑波大学では、平成27 ある。この門を通過するため 戦への切符をつかむ狭き門で イムを基に、 る。各校上位10名の合計タ くる合計約21㎞のコースを走 て国営昭和記念公園に帰って 上自衛隊立川駐屯地をス トし、立川市街地を回っ 11校が箱根本 年 予選会を終えてみてお話を庫・西脇工業高)のお二人に を走ってみた感想を伺うと、 伺うことができた。予選会 ると決意を示してくれた。 感じ、これからさらに速くな 選会を突破するための差を には届かなかったという。 何とかペースを上げたが目標 が上がらず、後半で何とか 腹筋が痙攣してしまいペース 相馬選手は、8㎞くらいから

ハーに選ばれた相馬崇史選手 、出場38校中17位 23 23 23 23 23 23 23 関東学連のメン 佐久長聖 意味で、 る。体 る大学のほとんどは、施設やと振り返る。箱根に出場す めに積極的なレースができた 制の整った私立大学であ 上位でゴールするた ムを引っ張るという 国立

(体育2年、

٤

秒という、

総合タイムが10時 を迎える今年、

という結果に終わった。

今回は、

戦が本格始動した。4年

筑波大学は

をかった去年と比較して、今 展開を行いタイムに結びつか

池田選手は、

消極的なレー

年は副主将という立場もあ

ジェクトと題して箱根への挑 の4月から箱根駅伝復活プロ

写真:同部提供 教えてくれた。 は共同生活を通じてできる

みを、 個人で考えられる人たちの集 それに即した生活・練習を るのではなく自分で考えるこ 7 は箱根駅伝への前哨戦とし 話してくれた。 場し、入賞してチームに貢献関東インカレやインカレに出 予選会を突破するためのモチ 中で、 の第95回箱根駅伝への意気込 まりはよい集団を作るとも ٤ を突破したいと話す。 を他の大学に周知させたいと 大学の長距離は強いというの 人的には、筑波大学に貢献 みを池田選手に伺うと、 れた。また、チームを引っ張っ ベーションにしたいと話してく 持ち帰って、 なわなかった相馬選手。 して目標を達成すること、 したいこととして、やらされ したいと言う。また、 できない3年間であったので、 ていく新主将としての意気込 自分の感じたことをチー も選ばれていたにも関わら している人のレベルの高さなど したことがある選手 また、 全日本大学駅伝の予選 ケガで箱根への出場がか ムメンバーには、 本線の雰囲気、 箱根駅伝本戦に出 高い目標を持ち、 チームが箱根の チームとして がいない 大切に さらに 筑 出 来年 波 個

手(医学4年、愛知·刈谷) 会で、前主将の川瀬宙夢選 所であるはずだ。予選会を 箱根駅伝は、長距離を走る第95回という歴史を歩む れであり、目標としている場 すべての陸上選手にとって憧 言ってくれた。 だ。

来の箱根本戦出場という現たちの思いは、第70回大会以 こそは。と後輩に思いを ことが印象に残る。筑波 す。」と涙ながらに語ってい 実に着実に近づいているはず たちに注目していきたい。 が悔しい。 今後も走り続ける選手 だからまた。来年

(蓮沼礼子)

むことも 悩 だとの 競技を行 側に迫った。 あるのでは してい 陸上 3

写真:西村撮影

今までにはない視点で部を見 と話してくれた。岸井さ 考えることができるのです。」 員全員が運営にかかわること 変なこともあるけれど、 競技以外の活動も深く 主事を務めたことで、 部 の予約、 対応など大きく大変な仕事 ど日常的な細かい仕事から、予定や場所の調整、連絡な インカレのバスの手配、ホテル ある。運営執 大会 中のトラブルの 調整、連絡な 行部は、活動

何うと「大 ないか、と

目ごとに集合して う陸上部。そ の陸上好き。今後は大学院 に進学予定で、競技と学業の 大への進学を決めたという大 両立を目指す。

ることができたという。

まで、

幅広く仕事を行う。

部を運営する委員会は5つ

普段は種

それぞれの主な仕事は

①広報委員会(TWi

れ故に他の種 練習すると

目の選手とのか

の所属している運営執行部で一び、陸上に打ち込むため筑波

で、幅広く は十種競 競技を選 種目をやる ために混成 つながった」と話してくれた。 本当の結びつきが試されるよ 個人を信頼して戦うチームは りがやるべきことをみつけ、 しを伺うと、「選手一人ひと 女子副主将を務めた若園選 位を上げて、3位となった。 あった前回大会から大きく順 個人が管理されるチームより 手に全カレを振り返ってお話 来年も陸上部らしい結びつ

合アベック優勝を成し遂げて きをみせ、是非とも男女総

見せたのは男子1500メー

ル決勝。

才記壮人選手(人

優勝し、この大会で筑波大

宮城・古川黎明高)が出場。

学勢初の優勝者が生まれた。

大学)には及ばなかったが、2 本記録を持つ北口選手(日本

弾みをつけた。

て逆転され、1センチメー 前回大会にて6回目の試技に 止まらない。

盛り上がりを

二日目も筑波大学の勢いは

攻2年、

富山・富山高)が決

勝に進出し、

間総合科学研究科体育学専

250人、 4年、 を務める岸井貴春さん(体育 にお話を伺い、 主事(2018年11月現 今回はそんな陸上競技部の 人数が多い部活の一つである。 陸上競技部は部員数約 神奈川・横浜翠嵐高) 競技部は部員全員が 筑波大学の中でも 陸上部の裏 在

役員) 運営、 フォーム委員の まとめているの そしてこれら5つの委員会を 部員 会委員会(筑 競技会での救護活動)③競技 ーム発注)となっている。一ム発注)となっている。 4デー 学連の タバンク委員会 波大学競技会の

委員会(選手の怪我の把握、 競技会の競技 岸井さん れていたといえるだろう。 する姿があった。この姿を見 真っ赤にして一生懸命に応援 て、岸井さんの仕事は果たさ かわりが少なく、 ムメイトの競技を、顔を

入賞した。

点を支えた。男子も7位で63.5点と大幅に増加し、得 フィールド部門は32点から 総合得点で103.5点を獲 全日程を終えて、女子は し、頂点に立った。特に

得

子やり投げのを 女子混成、女子 子棒高跳、男子 やHPの更新 かれ0. ラスト200 にゴール10メ はトップに出っ を沸かせた。 しい攻防を展 代表の舘澤選手(東海大)と 男女とも 14秒差で惜しくも2 女子砲丸投、 その他の種目も るも、 舘澤選手 アジア大会日本 各種目で入賞 開し、応援席 7記選手は一時 に得点を積み ートルから激 トル手前で抜 走高跳、男 でトップに躍りでて6回目でいた。今大会は5回目の試技一でトップに躍りでて6回目で 積極的なレース展開で2位に 子5000メートルに出場。 トル12で優勝。雪辱を果た した。好調の上田選手は女

高)が自己ベストを更新し、| 波大学勢3人が決勝に出 いのではないかと思った。しか 入賞した。また女子400 部」という一体感を感じにく メートルでは松本奈菜子選手 (体育4年、静岡·浜松市立 「陸上競技

チームであった。応援席では 波大学は、紛れもなく一つの し全カレ観戦に行った時の筑

育4年、 200メートルの決勝では筑 2位入賞を果たした。 男子 が二人とも同タイムで5位に 玉・進修館高)が出場し、江関口清乃選手(体育3年、埼 勝種目が続く中、 大手前高)と齊藤勇真選手 福島・福島高)が優勝、薬 原選手が優勝、関口選手 (体育2年、熊本·九州学院) 師寺亮選手(医学4年、大阪・ マー投げに江原宇宙選手(体 そして迎えた最終日。 山下潤選手(体育3年、 埼玉・進修館高)と 女子ハン 決 場

入賞し、前回 月に行われた関東インカレの を果たしたのを皮切りに、5 県立岐阜商業高)が2位入賞 若園茜選手(菜選手(体育3年、奈良・奈 女子1万メートルで自己ベス に乗っていた。 活躍が光った。 入賞するなど、女子選手の 女子円盤投了 ら順位を伸 良育英高)が、 トを更新し波に乗る上田雪 をおさめた。 筑波大学は 前回大会の23位か 体育4年、岐阜· レースで3位に こ2位と5位に ばした。また、 先頭集団に粘 女子棒高跳で 一日目から勢い

で3位につけるなど、好成績 はるかに上回り、 合優勝、 戦の末、女子は4年ぶりの総

男子も予想得点を

総合得点

川崎市等々力競技場にて開

(日本インカレ)が神奈川県・

催された。4日間にわたる熱

去年関東学連のメンバーに

陸上競技対校選手権大会9月6日より第87回日本

にて剱持クリア選手(体育4 重ねていった。 三日目には、 梨・山梨学院高)が 女子三段跳 た桑添友花選手(体育2年、

選手権大会で2位に入賞 競技では、U20世界陸上競 2位に入賞した。 フィー



関東大学女子サッカー選手権 という展開であった。しかし、が、11月11日(日)に第32回 戦に臨み1部昇格を目指す筑波大学女子サッカー部 位。このままだと入れ替え

決めた。今回は、女子サッカー

れた。また、

印象に残る場

声援を送っていきたい。

筑波大○4-1

自本大

のは、

筑波大○2-0●関東学園大

(蓮沼礼子) | 勝ち点24

順位1位

年、

北海道・旭川北高)だ。

たのは小学1年生のとき、

野寺選手がサッカーを始め

優勝へと繋がったと教えてく

同部は1部昇格を

主務の轟晴奈選手(体育

栃木·宇都宮女子)

大会で2部優勝を果たした。

関東学園大学との試合中盤、

練習に取り組んだことが2部出たいという気持ちで真剣に

優勝、1部昇格を果たした 女子サッカー部に今後も注目

と話してくれた。 見事、2部

筑波大○4-2●国士館大

筑波大○5-2●流通経済大

筑波大○2-0●尚美学園大

できたこと、

相手を意識した練習が相手を意識した練習が

て戦い抜きたい。」

るよう、気を引き締め直し

筑波大●0-1

〇順天堂大

筑波大○3-1

東海大

筑波大○6-1

● 十文字学園女子人

筑波大○4-0●山梨大

第32回関東大学女子

サッカーリーグ戦2部

結果

なって勝利を積み上げること な中、選手・スタッフが一丸と

チームの成長を感じ

ぱいだ。」と話してくれた。 た方々に感謝の気持ちでいっ

全員がチームの戦術を

が、後輩たちがまた新しいのでもっと激しくなると思う

動をしていたが、「デフサッ

サルの日本代表候補として活

カーは合宿費や遠征費など

からクラウドファンディングを

しまう」と考え、

開始した (この取り組みは11

本代表としての価値が薄れて 選手の自己負担が多く、

女子400円個人メドレー 新野杏奈(体育1年) 第5位 な子400円個人メドレー

横田早桜(体育1年) 第8位

● 筑波大学 - ● 社大学 - ○ 気波大学 - ● 近畿大学 - ● 近畿大学 - ● 近畿大学 - ● 近畿大学 - ○ 北政大学 - ● 北大学 - ○ 大政大学 - ○ 大阪大学 - ○ 大阪 -

新野杏奈、岡野圭穂 第2位 西脇怜奈、岸愛弓(体育3年)、

赤石咲乃 答

・ロー・ボタフライ 第4位

●龍谷大学

手はデフサッカー・デフフット

たという。そして、野寺選 後、蹴球部OBの紹介で始め サッカーを続けており、デフ 在に至るまで健聴者と共に 影響だったという。その後現 じくサッカーをしていた兄の

サッカーは筑波大学に入学

と、「来年は1部での戦いな

最後に今後の抱負を伺う

えてくれた。この第32回関東 られるリーグとなった。」と教

大学女子リーグは8月26日か

るべきことを徹底したこと、 理解し実践できるようにや

れると思う。

今シーズン、

関

チームで一丸となって戦ってく

スカウティングによって相手の

東リーグがまだ2戦残ってい

るので、2戦とも勝ち切

弱点を付けるような練習メ

笑顔でシーズンを締めくくれ

最終節が行われた11月

10校の総当たりで行われ

な試合は一つもなかった。そん独特の雰囲気があり、簡単で、何が起こるかわからない

きたことにほっとしている。一

たち、いつも応援してくださっ 緒に戦った仲間やスタッフの方 の大学も本気で勝ちに来るの

たちに来年インカレに挑戦で にうれしい気持ちと、後輩を決めて、轟選手は、「本当

となく耐えてさらに加点を

寄られたが、そこで崩れるこ 変えてきて1点差まで詰め 後半になって相手が戦い方を

して試合を終わらせたとき、

ムの成長を感じられたと

きる機会を与えることがで

感の中、

約3ヶ月戦った。ど

れない戦いが続くという緊張

感想を伺うと「毎週負けら

今大会を終えての

ない展開であった。1部昇格うまさに何が起こるかわから

および1部昇格が決まるとい 差で筑波大学のリーグ優勝、 き分けが決まり、勝ち点の グー位である順天堂大学の引 別会場で行われていた同リー

筑波大学のペースで試合が進

舘大学戦だと教えてくれた。

面を伺うと、第6節の国士

み前半を折り返したものの、

にお話を伺うことができた。

選手(体育4年、 ライ→背泳ぎ→平泳ぎ→ は、 と述べている。

称関東インカレ)で山田泰也 関東学生選手権水泳大会(通国際プールで行われた第91回

一で見事優勝を果たした。20 レー(決勝タイムは2:01:35) 高校)が男子2000個人メド

写真:同部提供 をすることができた。 快挙といえるだろう。今回、 田選手が関東学生チャンピオ 日本とアメリカのみであり、 将選手という日本人選手が2 我々は山田選手にインタビュー ンになったことは、素晴らしい ベルが高い。そんな種目で山 日本の男子200m個人メド 複数選手を送り込んだ国は に輝いている。なお、決勝に メダル、藤森選手は4位入賞 リオデジャネイロ五輪では決 てはならない)。2016年の レーは世界的に見てかなりレ 人も進出し、萩野選手は銀 勝に萩野公介選手と藤森太 由形はバタフライ、 由形の順序で泳ぐ競技だ(自 平泳ぎ以外の泳ぎをしなく 背泳ぎ、 それぞれの部門で練習時間 ミング(AS)の部門がある。 飛込・アーティスティックスイ 泳部では競泳以外にも水球・ 通じて交流がある。 1年のう 新歓や納会、豊実杯などを も場所も異なるそうだが、 視した取り組みがある。 学水泳部もチームワークを重 いう。そしてこれは日本代表 つが日本代表競泳チー に限った話ではなく、筑波大

は自身の気持ちとして「チー 優勝できて本当によかった」 ムの流れがよくなかったの、で 優勝した瞬間、山田選手 たりしているそうだ。こうし

会であったが、その原因の1 ジャネイロ五輪では競泳の日 前述した2016年のリオデ ムワークは非常に重要である。 の競技だが、 以外、基本的には個人種目 本代表チー ムが大躍進した大 実は水泳のチ 水泳はリレ が生まれたのだろう。 週2回の朝練習と、月曜日 山田選手の一週間は、平日

を送りあって士気を高めあっ レ)の前には、お互いにエール 日本学生選手権(通称インカ ちで最も大事な大会である ムワークの良さにあったと ムの 水 が出たのだろう。 る必要があり、 があるので、4種目分練習す けられる時間が限られる。だ につながったのだろう。練習の の練習の成果が今回の好成績 からこそ「常に」という言葉 レーは1回に4種目泳ぐ必要 間、山田選手はどのようなこ けの日々だ。このような日々 練習があり、土日は両日と 本人は語っている。個人メド ながるような意識をもって練 か。それは「常にレースにつ とを心がけているのだろう も一日練習で、まさに練習漬 から金曜日まで毎日の午後 習に取り組むこと」であると 1種目にか

200m個人メド

流れを意識したような発言 尋ねると、「仲間と一緒になに 泳をしてきてよかったことを 中で高まっていったのだろう。 しているからこそ、チームの いる。仲間とチームを大事に かを頑張れること」と答えて その証拠に、山田選手に水 学水泳部という「チーム」の 員という意識が山田選手の 残したこの大会においても、 を学んだという。 も大きな意味があること そこには大きな意味を持つ過

た取り組みの中で、筑波大

挑戦していくのだろう。 いってほしい。 大事にしながら自分の限界に した姿を皆さんにも応援して



程があったはずだ。また、 たい」と言っていた。 がどこまでやれるのか挑戦し 後について山田選手は 山田選手は今後も過程を (篠崎陽介)

剱持クリア(体育3年) 優勝 女子円盤技 女子ハンマー投

榎本遼香・金戸華(セントラル) 第2位 女子1m飛板飛込 女子1m飛板飛込

女子400只

円ードル 第3位

伊藤明子(M1)

第3位

女子3mシンクロ飛板飛込 榎本遼香 第3位

女子5000m 松本奈菜子(体育4年) 第2位

★田和希(体育2年)、山下澗、井上翔遥(体育2年)、山下澗、井上翔遥(体育2年)、

安子3^品飛板飛込 安子3^品飛板飛込

第3位

榎本遼香(体育4年) 第2位

第94回日本選手権水泳競技大会(飛込)

才記壮人(M2)

第2位

優勝

山下潤(体育3年)

第91回日本学生選手権水泳競技大会(飛込競技)

大久保柊(体育4年) 第2位

女子10000m 上田雪菜(体育3年) 第2位

男子シンクロ高飛込大久保柊 優勝

大久保柊・金子舜汰(セントラル)

大久保柊

|水泳部・水球| |水泳部・水球| | 一気液大13-11●中央大 | 一気液大13-11●中央大 | 一気液大13-11●中央大 | 一気液大13-19●町治大 | 一気液大13-7●早稲田大

という意味で、デフサッカー フ(deaf)」とは英語で「聞こ イコンタクトや手振り、 えないかわりに選手たちはア 数などのルールは一般的なサッ が義務づけられていること以競技中に補聴器を外すこと とは聴覚障がい者のサッカー えない人、聞こえにくい人」 カーと同じである。声が聞こ 外、基本的な試合時間や人 である。デフサッカーでは、 う競技をご存じだろうか。「デ 競技をご存じだろうか。「デーる)。 「このクラウドファンディみなさんはデフサッカーとい一月30日をもって終了してい

いる野寺風吹選手(体育2 筑波大学蹴球部に所属して で世界一を獲ると力強く語る えないサッカー「デフサッカー ションを図る。この音が聞こ などを使うことでコミュニケー トサル日本代表候補であり、 デフサッカー・デフフッ 手話 しようという動きが出ていクであるデフリンピックを招致 そして競技のレベルアップを ように、色々な活動を行い、 る。 クで多くの観客を集められる 本でデフスポーツのオリンピッ 度が低いが、このデフリンピッ いて何うと「2025年に、 今はデフサッカーの認 知

と思う。環境もだが、デフサッ カー・デフフットサル代表の意 けをしていけば説得力が増す 援してもらうことやその責任ングで自分が注目されて、応 ない」と野寺選手は話す。 識の低さを変えなければなら 選手にもプロとしての意識付 感を自分で体験して、他の 野寺選手に今後の目標につ H フは聞こえないだけでほかの 図った上で、最終的には優勝 たい」と力強く語った。 感動や勇気を与えるような ポーツという枠を超えたサッ 技性が高いという利点があ 障がい者スポーツに比べて競 日本代表として活動していき カー・フットサルで、みんなに 標にしたいのは、障がい者ス る。だからこそ自分が一番目 したい」と答えた。さらに一

選手。 すます目が離せない トサルW杯も開催され、 変えていこうと取り組む野寺 寺選手の今後の活躍からま てプレーする選手の意識をも カーを取り巻く環境、そし まだ認知度の低いデフサッ 来年11 月にはデフフッ 野

水泳部・競泳 (米(エクストリームつくば) 梶原悠未 優勝

梶原悠未・山口真工 梶原悠未·橋本

男子200 m平泳ぎ 戸澤潤也(体育3年) 第8位 大久保琳太郎(体育4年) 第6位 大久保琳太郎 世(体育4年)、猪狩雄哉 世(体育4年)、山田泰也、 (体育4年)、山田泰也、 水冰競技大会一競泳競技

第18回関東学生ソフトボール秋)筑波大7-2●千葉大 秋季リーケ戦(日部)

●筑波大4-8○関東学園大 ●筑波大9-13○埼玉大 ●筑波大9-13○埼玉大

(舛本暖菜)

佐藤勝亮 山田泰也 猪狩雄哉(

奥山寛也(体育

第60回全日本学生バドラ ミントン選手権大会 個人戦

女子50平自由形 女子50平自由形 岡野圭穂(体育4年) 一

安田美空(体育3年) 西野勝志(体育3年) 全日本学生パドミントン選手権大会 団体戦 ● 東京女子体育大学 ● 東京女子体育大学 ● 専修大学 第3位 第優 3 勝 [柔道部]

女子1000日自由:

年) 第6位

女子200E 岡野圭穂

第7

女子2008青泳ぎ

赤石咲乃(体育2年) 第8位子100m平泳ぎ

西脇怜奈(体育4年) 第7位

(男子37回 女子34回) 男子66㎏級 男子66㎏級 場本祥真(体育1年)) 第3位

長谷川雷(体育4年) 田嶋剛希(体育3年) 田嶋剛希(体育3年) 準優 優勝

平学生柔道体重別選手権大会

○筑波大 9-0●流通経済大○筑波大 1-0●神奈川大→筑波大 2-3○創価大(京波大 2-3○創価大

第14回関東地区大学野球選手権大会【硬式野球部】

増澤すず 第2位

平成30年度講道館杯 王日本柔道体重別選手権大会

男子90婦問秀征(体育2年) 石郷問秀征(体育2年) 泰田晴乃(体育2年) 第3位 女子8㎏級 女子8㎏級 第3位

W21E(女子日本選手権クラス) 第7回金日本ミドルオリエンテーリング大会 増澤すず 優勝 スプリント競技部門 【オリエンテーリング部】 ングディスタンス競技部門 WE増澤すず(比文3年) 第2位 (女子選手権クラス) ーリシ選手権大会

第8位

平成30年度·第85回·全日本大学総合 卓球部] 三浦健太郎(体育4年)組坪井勇磨(体育4年)・

高東沙奈(体育2年)組 第7位

ル連盟秋季リーグ

3㎞個人追抜き

梶原悠未(体育3年) 優勝(大会新)

優弥(岐阜県) 優勝

全日本大学対抗選手

選手権自転車競技大会第74回

[男子ハンドボール部]

文部科学大臣杯 第

最終結果、第3位

ブロック賞 樋口祐希(体育4年)

最終結果、8勝3敗、第3位、

サーブレシーブ賞 鏡原叶悠(体育2年) 最終結果、5勝6敗、第7位 最終結果、5勝6敗、第7位 波大1-3○東海大

● 筑波大0-3○松廣大
● 筑波大1-3○国士館大
○ 筑波大3-1●日本女子体育大
○ 筑波大3-1●日本女子体育大
● 筑波大0-3○日本大
● 筑波大1-3○日本大
○ 筑波大1-3○日本大

・ 発変にする。 ・ 発変大3-0●専悦大 ・ 発変大3-0●専悦大

天皇杯・皇后杯ファイナルランド進出決定 ○筑波大学2-1●神奈川大学 ○筑波大学2-0●青山学院大学 ○気波大学2-0●青山学院大学 天皇杯・皇后杯関東ブロックラウンド 天皇杯・皇后杯関東ブロックラウンド

陸上競技部

競技対抗選手権大会

齋藤ゆり子(体育4年)

女子400mフリーリレー 女子400mフリーリレー 帯野杏奈、横田早桜 第2位 新野杏奈、横田早桜 第2位